

検診で守る命

子宮がん、乳がんの市の検診のとき、
「恥しいから行かない」と言う私もつれあ
い、くれたのが親友のSさんだった。

再診の通知がとどき、果かんセンターに行
き精密検査もうけた。乳がんと宣告された。

地元の先生に手術をお願いし、右乳房を
摘出した。早期発見でよかったね。検診を
うけたよかったと退院のとき先生が言っ
て下さった。二十才の夏だった。市内の結婚式

場もパート社員で七十二才まで勤めた。二十

六年間毎年の検診を怠らず、再発見もなく来年
五月は米寿を迎える。夫も六十二才のとき検

診で大腸がんを発見された。人工肛門をつけ
にがハナオが元気になられた。

ふたりの息子、家族、友人、知人に、私は
身をもつて検診の大切さをすすめている。S

さんもハナオのとき乳がんの手術をし、卒
寿でおえあひある。検診で守ろう自分の命

明かると健康に笑顔で生きていく私です。